

2025年5月13日

社債型種類株式（上場型） に関するQ&A

ZÉNSHO

株式会社 ゼンショーホールディングス

質問	回答
1. ハイブリッド調達とは何か	■ 種類株式やハイブリッド社債（劣後特約付社債）・ハイブリッドローン（劣後特約付ローン）などの、議決権の希薄化が発生しない資本性のある資金調達手法です。
2. 今回、定款変更を行う目的は何か	■ 今後更なる持続的な成長を可能とする事業戦略の遂行を支えるため、資本の充実を通じた財務基盤の強化を図ることが重要であり、種類株式やハイブリッド社債を活用することで、ハイブリッド調達（議決権の希薄化が発生しない資本性のある資金調達）を実施してまいります。このような考えのもと、主に個人投資家を対象とした「社債型種類株式」が有用な選択肢であると考え、定款変更を行うこととしました。
3. 社債型種類株式の特徴は何か	■ 会社法上の株式ですが、株式と社債の中間的性格を有するハイブリッド調達で、商品性はハイブリッド社債に類似しています。 ■ 社債型種類株式には議決権や普通株式への転換権がなく、「社債」としての側面を有した商品性を想定しています。また、社債型種類株式の配当や残余財産の分配順位は普通株式に優先し、発行時に定めた優先配当金以上の配当が行われない非参加型です。 ■ 普通株式とは別に、東証プライム市場への上場申請を予定しており、幅広い投資家へ投資機会を提供することを企図しています。

社債型種類株式に関するQ&A

質問	回答
4. 財務戦略上ハイブリッド調達に期待する役割、資本構成上の位置付けは	■ ハイブリッド調達は、普通株式の発行によって生じる普通株主の議決権の希薄化や普通株式に係るROEやEPSへの影響を抑制(※¹)しつつ、健全な財務基盤を確保するための自己資本の拡充を実現する調達手法の選択肢となりえるものと考えています。 ■ 社債型種類株式は一般的なハイブリッド社債とは異なり、発行により調達した金額は会計上も資本として計上されるほか、資本コストは発行時に決定される配当年率相当分であるため(※²)、普通株式による増資よりも資本コストを抑制できると考えられます。
5. ハイブリッド社債・ハイブリッドローンとの類似点及び相違点は何か	■ ハイブリッド社債・ハイブリッドローンと同様、社債型種類株式では、格付会社（JCR）より発行額の50%に対して格付上の資本性の認定を受けられる商品性を見込んでいます。 ■ 他方で、社債型種類株式では、会計上の自己資本を拡充できる点が異なります。加えて、社債型種類株式は東証プライム市場への上場を通じて幅広い投資家に検討いただける商品（NISA対象）です。
6. A種優先株式との類似点及び相違点は何か	■ A種優先株式と同様、社債型種類株式は、会計上の資本性を拡充することができます。 ■ 他方で、A種優先株式は、金融機関からの調達でしたが、社債型種類株式は、東証プライム市場への上場を通じて幅広い投資家に検討いただける商品（NISA対象）です。
7. 過去にハイブリッドローン・A種優先株式による資本性の調達も行っているが、なぜ定款変更をするのか	■ ハイブリッド調達という観点では、ハイブリッドローン・A種優先株式は、金融機関からの調達が中心となります。今回の定款変更は、個人を含む幅広い投資家からも資金を調達することで、会計上の資本拡充を実現する資本性調達資金の選択肢を増やすことが目的です。 ■ なお、社債型種類株式と、ハイブリッド社債、ハイブリッドローン、A種優先株式への利払・配当を行う場合には、同順位での支払いを想定しています。

※ 1 普通株式に係るROEやEPSを計算する場合において、基礎となる純資産額や純利益額より社債型種類株式及びA種優先株式に係る部分（払込金額及び優先配当金）を控除して計算することを想定した場合となります。

※ 2 第1回社債型種類株式の発行日の属する事業年度以降、発行日から5年が経過する日の属する事業年度までの期間における配当年率は5%以下を想定しています。なお、当該水準は、2025年5月13日現在の市場環境等を前提としており、今後の市場環境等の変化によって、変更される可能性があります。

社債型種類株式に関するQ&A

質問	回答
8. 普通株主にデメリットが生じないか	■ 議決権や普通株式への転換権がないため、普通株主の議決権の希薄化が生じません。 ■ 発行時に定めた優先配当金以上の配当が行われない非参加型であり、優先配当金以外の配当に対する参加権は普通株主のみが有します。 ■ 普通株式による公募増資に比べて、普通株式に係るROEやEPS等への影響に配慮(※1)した調達手法です。
9. 社債型種類株式の発行が普通株式の配当方針に影響を与えないか	■ 当社グループは、株主の皆様に対する安定した利益還元を経営の重要施策の一つと考え、積極的な業容の拡大と内部留保金の充実を図りながら、業績に応じた利益配分を行うことを基本方針としております。したがって、第1回社債型種類株式の発行を行ったとしても、普通株式の配当方針に影響を与えることは想定しておりません。
10. 社債型種類株式の発行が普通株式の株主優待に影響を与えないか	■ 普通株式の株主優待に影響を与えることは想定しておりません。なお、現時点では社債型種類株式の株主に株主優待を付与する予定はありません。
11. 買収防衛策として利用されないか	■ 社債型種類株式は、議決権や普通株式への転換権がないため、買収防衛策に利用できる性質ではなく、当社においてそのような想定もありません。 ■ 社債型種類株式を無償割当等で普通株主に割り当てることも想定していません。
12. どのような発行形態を想定しているか	■ 発行する場合には、国内における一般公募を通じ、個人投資家をはじめとする幅広い投資家にご投資いただくことを想定しています。 ■ 当社の普通株主である皆様にもご購入いただけることを想定しています。

※1 普通株式に係るROEやEPSを計算する場合において、基礎となる純資産額や純利益額より社債型種類株式及びA種優先株式に係る部分（払込金額及び優先配当金）を控除して計算することを想定した場合となります。

質問	回答
13. 第1回社債型種類株式の発行時期と発行金額の予定は	■ 現時点では発行時期を含めて決定している事実はなく、未定となります。 ■ ただし、今般の社債型種類株式に係る定款変更が株主総会において承認された際には、当社の財務戦略・資本政策に基づき、市場環境に鑑みて発行時期及び金額を検討することを想定しています。 ■ なお、2025年5月13日付の第1回社債型種類株式に係る発行登録において、発行額は最大500億円と設定しており、定款変更案においては、第1回社債型種類株式の発行数の上限を1,000万株としております。
14. 発行後概ね5年間の優先配当年率を5%以下と想定する考え方は	■ 資本と負債の中間の位置付けの商品性を踏まえつつ、類似する社債型種類株式・ハイブリッド社債の市場価格等を総合的に勘案し、設定しています。なお、当該水準は、2025年5月13日現在の市場環境等を前提としており、今後の市場環境等の変化によって、変更される可能性があります。
15. 東証プライム市場への上場を検討する理由は	■ 幅広い投資家に投資いただく上で、東証プライム市場への上場によって認知度を高めるとともに、売買の機会を提供することが重要と考えたためです。
16. 5年後に、第1回社債型種類株式を現金対価で取得（コール）する予定なのか	■ 当社が今後、第1回社債型種類株式を発行した際に、発行日の5年後以降に現金対価で取得（コール）するか否かは、その時点の事業・財務状況や市場環境等を総合的に勘案して判断します。 ■ なお、ハイブリッド調達の市場慣行として、多くの投資家が当社による取得（コール）が可能となる発行日の5年後から配当がステップアップするタイミングまでに、当社による取得（コール）が行われることを期待している点は十分に認識しております。
17. 複数回号を設定しているが、具体的な発行はどのように考えているか	■ 現時点では第1回を含め、発行時期について決定している事実はなく、将来、資本拡充の必要性が生じた際に、機動的な発行を実現することを目的に、第10回までの授權枠を確保しています。 ■ この他、当社が第1回社債型種類株式を現金対価で取得（コール）する場合には、原則として同等以上の資本性調達を行う必要がある内容を想定しているため、当該取得に伴い同様の社債型種類株式を発行することも考えられます。

この文書は当社の社債型種類株式に関して一般に公表するための参考資料であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。今後当社が社債型種類株式を発行する場合において、投資を行う際は、必ず当社が作成する発行登録目論見書、発行登録追補目論見書及びそれらの訂正事項分（作成された場合）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

また、この文書は米国における証券の募集を構成するものではありません。米国1933年証券法に基づいて証券の登録を行う又は登録の免除を受ける場合を除き、米国内において証券の募集又は販売を行うことはできません。米国における証券の公募が行われる場合には、米国1933年証券法に基づいて作成される英文目論見書が用いられます。当該目論見書は、当該証券の発行会社又は売出人より入手することができますが、これには、発行会社及びその経営陣に関する詳細な情報並びにその財務諸表が記載されます。なお、本件においては米国における証券の公募は行われません。

ZÉNSHO

